

【施設状況】

グループ名称	若槻公民館							
指定管理者名	若槻地区住民自治協議会 「コミュニティわかつき」				法人番号	2700150073954		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副				
構成施設	3377	若槻公民館						
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	会議室(大・中・小) 各1、三登山ホール 1、料理教室 1、図書室 1、体育館 1							
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。							
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業 							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	若槻地区住民自治協議会 「コミュニティわかつき」	当該指定管理者の 指定回数	2 回
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成28年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。		
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)		3

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用者数	人	32,202	19,168	16,489	22,845	139%	3
		利用率	%	42.4	27.2	35.0	31.3	89%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 【令和4年度】新型コロナウイルス感染対策のため、教室の収容人員を制限したことや、サークル等が利用を自粛したこと等によりコロナ禍以前(令和元年度)より利用者・利用率が減少しているが、制限の緩和に伴い利用状況は回復してきている。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・若槻公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・若槻公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務 ・若槻公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・公民館報 3回/年 発行。ホームページの更新などの情報発信を行い公民館活動の広報をした。 ・講座の開催等は、ホームページへの掲載、講師の紹介等を入れ親しみやすさを工夫した地区回覧の他、マスメディア(週刊長野)を活用するなどし、新規受講者の参加に繋がった。							

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容	・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握をした。 ・貸館利用者へは、利用簿への記載箇所を設けるとともに返却時等に聞き取りを実施した。	
(3) 調査、会議等の結果	実施した一般講座 24講座(75回) 講座参加者数 延べ1,241人 うち アンケート回答者数 289人 満足 87.7% やや満足 11.8% やや不満 0.5% 不満 0%			
	利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	・高齢者学習事業として様々な分野の講座を行う三登山講座について、「5回の座学と館外講座により学びを深めることが出来た(信州の伝統行事と伝統工芸)」、「若槻地区の自然を再発見できた(若槻地区の自然環境について)」、「源氏物語が軽快な語り口調で分かりやすい解説だった(古典文学)」などと好評だった。 ・バドミントン講座では「講師の丁寧な指導で受講生の技術が上達した」など40代から80代まで幅広い年代の参加者から好評だった。 ・施設について「館内の清掃が行き届いていて使用しやすい」と、コロナ感染対策を徹底したことが利用者に安心感を与えた。 ・利用者の立場に立った丁寧な接客や、必要最小限の職員体制から業務分担の枠を超えて協力し合っていることが、「職員の協力体制が出来ており素晴らしい」と利用者からの評価に繋がった。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	A.成人学校のコーラスの音が大きいため他の会議室の利用者から聞こえにくいと指摘があった。 B.足に不安がある利用者から2階へ上がる階段がづらい。	
		《対応措置》	A.コーラスの音量の確認した。コーラスの音漏れについては、建物構造上の問題であり利用者に理解を求めると共に、他の会議室も使用していたため部屋の変更ができなかったため、会議室のドアを少し閉めて声の漏れを防いだ。 B.階段を上る時に見守りを荷物運び励まして手助けをした。足に不安のある利用者には1階の会議室の利用を進めた。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和4年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和4年度決算		令和3年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	1,672,671	利用料金	2,453,692	歳入	使用料	6,000	使用料	6,000
	指定管理料	13,744,000	指定管理料	13,744,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料	行政財産目的外使用料	6,000	6,000
	販売収入等	29	販売収入等	27		貸付料	貸付料		
	その他収入		その他収入		その他		その他		
	計	15,416,700	計	16,197,719	計	6,000	計	6,000	
事業支出 (単位:円)	人件費	8,750,000	人件費	8,140,978	歳出	指定管理料	13,744,000	指定管理料	13,744,000
	設備管理費	225,992	設備管理費	225,668		委託料	委託料		
	備品購入費	200,000	備品購入費	69,900		需用費	26,950	需用費	
	修繕費	150,000	修繕費	666,160		役務費	3,850	役務費	
	光熱水費	1,680,000	光熱水費	1,987,364		使用料・賃借料	2,835,156	使用料・賃借料	2,800,000
	事業費	2,282,800	事業費	2,768,100		修繕費	88,000	修繕費	
	事務経費	1,127,908	事務経費	1,556,661		工事請負費	699,600	工事請負費	
	本社経費	0	本社経費	0		備品購入費	240,372	備品購入費	319,000
	その他	1,000,000	その他	810,600		その他		その他	
	計	15,416,700	計	16,225,431		計	17,637,928	計	16,863,000
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		-27,712	差引	-17,631,928		-16,857,000	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和4年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								50.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※ すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	

6 危機管理体制 ※すべて で、「3」。1か所でも空欄の場合は「1」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 80

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	1 住民自治協議会各部会と協力して事業を行い、地域全体との連携を図る。 2 小・中学校・保育園・児童館と連携し、公民館事業を推進する。 3 講座・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 4 地域公民館の相談に対応し、連携を図る。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由

【利用者評価を4とした理由】
 ・利用者からの要望を講座に反映したこと、職員の親身な対応や職員の協力体制について利用者から好評を得ている。
 ・施設内の点検をし、修繕や備品の整備を速やかに行い、利便性と安全性を高めたことを評価した。
 【地域連携を4とした理由】
 ・住民協各部会と連携したフレイル対策や地域の自然環境を生かした講座を開催したこと、若槻郷土史研究会と連携した古文書読み解き講座を開催したこと、地元講師の活用が多いことを評価した。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題

改善状況

改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・
取組み等
(施設所管課)

・新型コロナウイルス等感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。
 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。
 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

講座終了後のアンケートから要望を組みとり、より良い講座が運営できるように心がけた。施設内の安全点検を常に行い危険があれば排除し、安全にどなたにも利用しやすい施設づくりに心がけた。
 ・女子トイレの水が止まらない状況があり部品を交換した。水も止まって節水できて利用しやすくなった。
 ・コミュニティセンター入口の自動ドアの鍵がかかりにくくなったため交換した。利用者からはスムーズに施錠できるようになって喜ばれてる。
 ・熱中症対策のため体育館にスポットクーラーを導入した。夏場の体育館利用者に大変好評で30度を超える体育館でも、部分的に涼しむことが出来て利用者から大変喜ばれている。
 ・図書室で本の閲覧のための机と幼児が使用しやすい低めの座机とマットを購入した。本をゆっくり閲覧することが出来て好評である。また親子で絵本広げてマットに座って本を読むことが出来るようになった。

② 業務の効率化に対する取組み

職員数が必要最小限の人数のため業務が停滞しないように業務分担の枠を超えて業務を行うようにした。

③ その他

・新型コロナウイルス感染予防のため施設内の消毒を行い感染予防に努めた。
 ・新型コロナウイルス感染レベルに応じて主催講座、成人学校、サークル利用者に使用方法について周知して安全に利用できるように努めた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・災害時、被災した館の被災状況や、被災した館への復興支援対応(市公連の活用)などについて、直営も指定管理も関係なく情報共有することが必要。復興支援は、ボランティア登録以前の問題で様々な問題はありますがクリアしていただき、台風台風19号の経験を活かし早急に復興支援体制を樹立していただきたい。
 ・当公民館施設のほとんどが2階である。当公民館の主たる利用者は高齢者であり2階に上がる階段勾配がきつく段差の高さもあり足腰の弱い高齢者が利用するには非常に利用しづらい施設である。過去には、階段を下ろうとした高齢者が階段の途中から落ち怪我をした事故が発生しています。職員が事故防止のため声掛けや介添えを行っています。また、2階にはトイレの設置もなく地元住民からは建物は2階であるが、誰もが安全に安心して公民館が利用できるようエレベーターの設置を強く希望されていることから、令和3年度の「ようこそ市長室」において当施設の建て替えを要望し市長から建て替えまでの不便解消措置としてエレベーター設置と2階トイレ設置について提案され、市側の設置場所等の利便性が解決出来ず設置費用も高額になることから市長からいただいた提案を断念せざるを得なく引き続き市に早期建て替えをお願いする。

(3) 総合評価 評価基準
 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

新型コロナウイルス感染状況の推移を見て、講座等の延期などの処置をとり施設内の除菌や感染の予防対策の徹底を図り、ほぼ予定した講座100パーセントに近い講座を開講することができた。コロナ禍であっても新規講座を含め職員が一丸となって講座を開講することができ、地域の方に計画した講座を提供することができた。 よって『C』とした。

② 次年度以降の取組み

・「出会い・ふれあい・学び合い」をキャッチフレーズに、絆をより大きく育てられる講座や学習を積極的に支援し、親子・地域の方が共に、人づくり・絆づくりができるよう学びの場、交流の場として親しみやすく明るい公民館を目指します。
 ・公民館を利用される皆さんが、ともに学び、ともに楽しみ、ともに育み、いつも笑顔で思いやりのある心と豊かな感性を育てる講座や健康学習などを積極的に推進し、世代を超え地域の皆さんが利用しやすい公民館をめざします。
 ・地域と連携し公民館活動の推進を図ります。
 ・コロナ感染防止対策の徹底を行い講座の運営に努めたい。